

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	認知症の理解 I	担当者名	森田 要
授業の概要	認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に着目し、認知症を取り巻く状況を理解する。また、認知症を医学的・心理的側面から段階に応じた心理症状を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を習得する。				
科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症ケアの歴史や理念を含む、社会的環境について理解する。 2. 認知症の医学的・心理的側面の基礎理解をもとに、生活支援を行うための根拠となる知識を習得する。 3. 原因となる疾病及び段階に応じた心身の変化を理解し、認知症に伴う生活への影響と本人主体の認知症ケアについて理解できる。 4. 認知症の人を支える家族の課題について理解する。 				
DPの観点	③柔軟性(20) ⑥専門知識・技能(50) ⑦思考力(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	予習として、該当するテキスト内の図、表と配布資料に目を通す。予習・復習についてはそれぞれ1時間程度の学習をする。				
フィードバックの方法	授業担当者より授業内筆記試験の結果が返却される(最終筆記試験結果は返却しない)。				
単位認定の要件	15回の授業を実施し、後日、最終筆記試験を実施する。 テーマごとに小テストを行い、最終筆記試験は総合的な内容のものとする。 視聴覚教材使用時は、授業時間内のレポート提出を求める。試験、レポート、活動状況を含め、総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	最終筆記試験 60%、授業内試験 10%、授業内提出物 10%、授業内活動 20%				
履修上の注意事項	毎回、テキストと配布資料を持参してください。 30分未満の遅刻・早退が3回みとめられた場合、1回の欠席として評価時に換算する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			認知症のある高齢者の現状と今後を理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
2			認知症とは何か理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
3			認知症の特徴を理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
4			脳のしくみを理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
5			認知症の人の心理を理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
6			中核症状を理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
7			生活障害について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
8			BPSDについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
9			認知症の診断と重症度について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
10			原因疾患と症状・生活障害について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
11			治療可能な認知症、若年性認知症について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
12			治療薬、認知症の予防について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
13			認知症ケアの歴史について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
14			認知症ケアの理念と視点について理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
15			認知症の人の思いを尊重したサポートについて理解する。	③⑥⑦	振り返りシート
期末試験			筆記試験		

使用テキスト	最新 介護福祉士養成講座13「認知症の理解」(中央法規出版) 荘村明彦
参考文献 参考URL	認知症plus行動・心理症状のケア(日本看護協会出版会) 内田陽子
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	------------------------------------------------

授業の自己評価	
---------	--